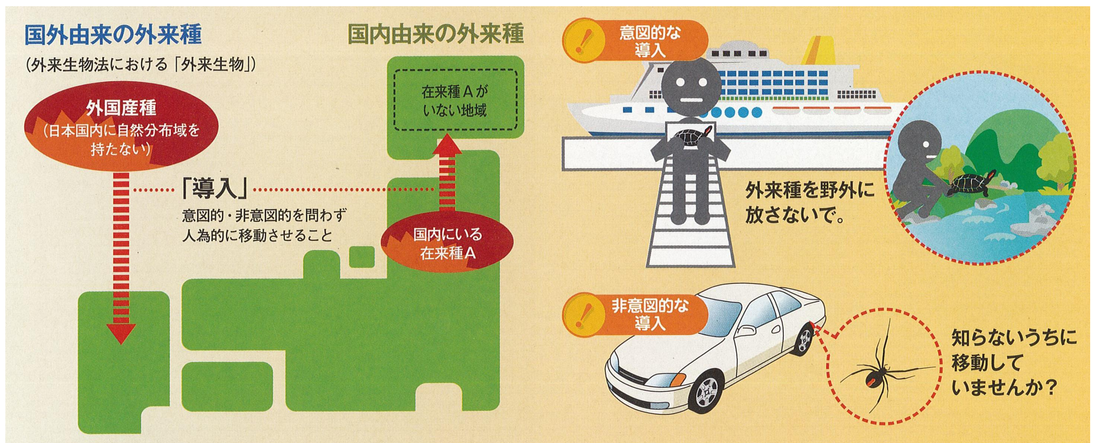
困った困った外来種問題 ～知って守ろう！福井の自然～

福井県自然保護センター

外来種ってどんな生きもの？

人の活動によって、本来の分布域の外の国や地域に導入された生物

□国外由来の外来種：海外から国内に持ち込まれた生物
□国内由来の外来種：本来分布しない国内の他地域に持ち込まれた在来種



外来種の何が問題？

外来種の一部は、生態系や農林水産業、人の健康に大きな被害をもたらします。

在来種を食べたり、在来種の生育・生息地を奪う

農林水産物を食べたり、農耕地を荒らす

在来種との雑種を作り、日本産の遺伝子を持つ個体がいなくなる

毒やキバ、ツメなどで人に危害をあたえる

このような外来種を**侵略的外来種**と呼びます。

福井の自然にはどんな外来種被害があるの？

■湿地の環境を破壊するアメリカザリガニ

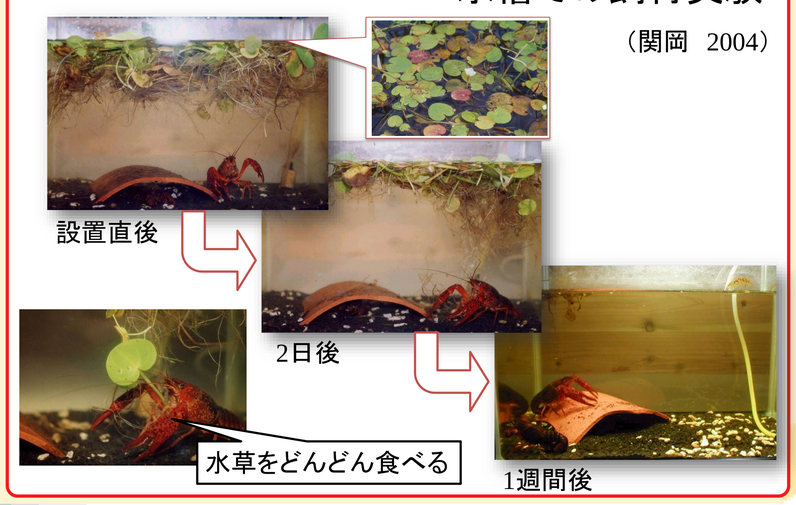
中池見湿地での事例 （関岡 2004）

わずか3年で、水草が消えてしまった…

希少な水生植物を食べて減らし、他の生物の生息環境まで破壊！

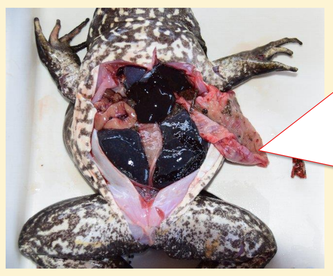
本当にアメリカザリガニが水草を食べちゃうの？

水槽での飼育実験 （関岡 2004）



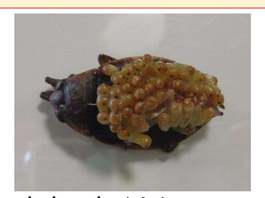
■希少な昆虫を食べつくすウシガエル

三方五湖での事例 （ハスプロジェクト推進協議会）



胃の中には福井県レッドデータブックに掲載された昆虫も！

クロゲンゴロウ
（県域準絶滅危惧）



オオコオイムシ
（要注目）

コクワガタ

トンボ類

■河川敷を独占するオオキンケイギク

河川敷固有の在来植物の生育地を奪う！

外来種による被害から自然を守るためには？

外来種の取り扱いは、国の法律で厳しく規制されています。
けれど外来種を減らすには、地域での地道な活動が重要です。

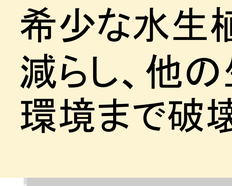
外来生物法

- 侵略的外来種の一部を**特定外来生物**に指定

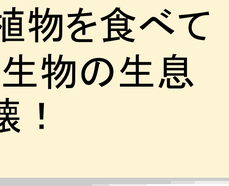
⇒飼育・栽培、運搬、保管、輸入、野外への放出、譲渡などを規制

- 違反すると・・・個人：**300万円以下**、法人：**1億円以下**の**罰金**

福井県内で確認された特定外来生物



ウチダザリガニ



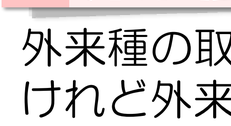
ソウシチョウ

ガビチョウ

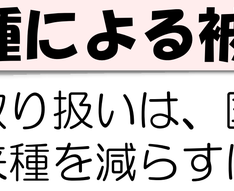
アライグマ

ヌートリア

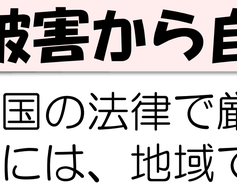
セアカゴケグモ



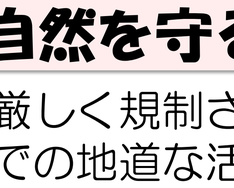
ブラックバス
（オオクチバス・コクチバス）



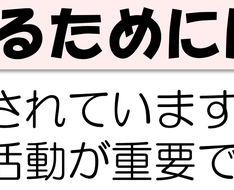
ブルーギル



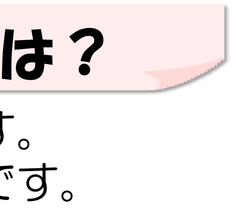
ウシガエル



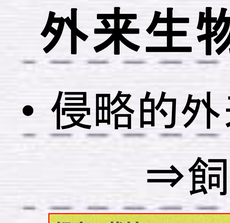
カミツキガメ



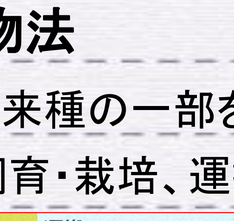
オオフサモ



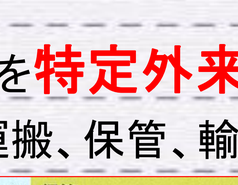
アレチウリ



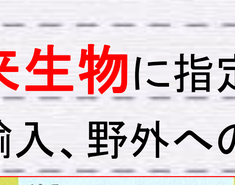
オオキンケイギク



オオハンゴンソウ



オオカワヂシャ



ボタンウキクサ

16種

＊本ポスターの写真や図の一部は、環境省のHPから転載しました。

駆除活動の事例

➢ **湿原でのオオハンゴンソウ駆除** （勝山市池ヶ原湿原など）

根っこから引き抜き

➢ **ため池のウシガエル駆除** （あわら市北潟湖周辺など）

かごわなで捕獲

➢ **ため池のアメリカザリガニ駆除** （越前市白山地区など）

かごわなで捕獲

アミや竿で捕獲

けれど、侵略的外来種はとても増えやすい
⇒捕っても捕ってもなかなか減らない！

だから絶対に、入れない！捨てない！広げない！